

令和7年度  
自己点検評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1 学校の教育理念

時代の要請に応え地域産業界への貢献という一貫した価値観のもと、一人ひとりの個性を尊重し、社会に貢献できる人間形成を目指す。

## 2 学校の教育目的

本校は「何処の場にあってもなくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の養成を目的とする。

## 3 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標

令和7年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

### (1) 自動車学科

- ・二級自動車整備士14年連続100%合格を目指し、学生一人一人に寄り添った指導を徹底するとともに、校内での企業実習を増加させることにより各自動車メーカーの新技术の習得と即戦力となり得るサービス技術の向上を目指す。
- ・本年度入学生から、従来の教科書から二級自動車整備士総合への変更に伴い新カリキュラム（電子制御装置整備・2輪車含む）に対応した授業の円滑化に取り組む。
- ・就職率100%を目指し、1年次に自動車ディーラー、産業機械、2輪車など含め広い会社説明会への参加促進を図る。
- ・整備技術だけでなく人間教育にも力を入れるために、マナー教育、健康など外部講師による講座の充実を図る。

### (2) エアポートサービス学科

- ・就職後、即戦力として業務に従事できるようグランドハンドリングの座学及び実技訓練の質の向上を図る。
- ・現地佐賀空港での実践実習は、実車を使用し就職後の自信の付与にも繋がることから協力企業との連携を図り充実させる。
- ・就職率100%を目指し、積極的に校内企業説明会を開催するとともにあらゆる機会を通じて、企業情報を提供することでスムーズな企業選択並びに早期就職内定の決定を図る。この際、保護者の理解を深めるため就職に向けた保護者会を開催する。
- ・在学中に英検3級合格を目指す。保有者並びに合格者は、さらに上級を受験し合格させるよう指導を図る。

#### 4 評価項目の達成及び取組状況

##### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

##### ① 課題

自動車整備業界から養成校に対して、新技術等の導入に伴い基礎から電動化に対応したメカニック育成などのニーズが高まっている。また、令和7年度から整備士技術検定等の一部を改正する省令の公布に伴い、在校生全員が新教科書での授業となる。一方、航空業界では、年間4000万人を超える訪日外国人の入国により、定時運行を支える質の高いグランドハンドリングスタッフの育成が求められている。併せて、両学科共通として社会人の基礎づくりをテーマとし育成に努めなければならない。また、学校の理念等の周知については機会あるごとに発信を続けていくことが重要である。

##### ② 今後の改善方策

- 自動車業界の電動化（ハイブリット含む）へのシフトについては、環境面から舵取りが大きく変化することはないと思われる。自動車学科は、新教科書に基づく授業はもとより、これまで蓄積したノウハウを含め教育し、整備業界の要望に応じていけるよう人材育成に取り組む。この際、関係業界団体並びに職業実践専門課程の特色を活かし企業連携授業を推進する。
- エアポートサービス学科は、国の政策としてのインバウンドの更なる増加にも対応できる人材育成に取り組む。
- 両学科の共通事項として、マナー・コミュニケーション能力の向上を図るため引き続き外部講師による講座など積極的に取り入れ基礎を確立させる。
- 学校理念等の周知は、校内での各種行事等を利用し周知を図り、学校評価アンケートなどにより周知の確認を行うことが必要となる。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事等に関する規定等は整備されているか	4	③	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

- ・ 運営組織は、校務分掌に基づき部門ごとの年度計画を作成し業務を実行している。

② 今後の改善方策

- ・ 校務分掌に基づき業務分析を行い有効に機能させる。
- ・ アンケートの集計を紙媒体から電子媒体での集約にシステムを逐次変更する。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1

関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

### ① 課題

- ・ 自動車学科においては、新教科書に沿ったカリキュラムでの教育内容に工夫を凝らし電子制御機構にも対応していかなければならない。
- ・ エアポートサービス学科では、座学はもとより校内・校外実習の質の向上を図る。

### ② 今後の改善方策

- ・ 自動車学科は、新技術・新機構などの知識の修得のため業界団体等主催の研修会への積極的な参加を促進させ指導力・資質の向上に繋げる。
- ・ エアポートサービス学科は、座学と実習のバランスを図り校内で対応できない実習・研修は協力企業と連携し即戦力として活躍できる人材育成に努める。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・ 退学者の皆無が学校評価に影響を与えることから低減に努めなければならない。
- ・ 卒業生等の評価の把握等については、情報の収集と職員間の共有が第一である。

② 今後の改善方策

- ・ 保護者を含めた連携の構築と学生一人一人と向き合い寄り添う指導・対応を継続するほかにないと思われる。
- ・ 卒業生の就職先企業への訪問等で得た活躍情報等についての共有を活発化させる。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1

保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・ 健康管理を担うため健康に関する外部講師による講座開設が必要
- ・ 九州ブロック専門学校体育大会への参加の促進を図る。

② 今後の改善方策

- ・ 外部講師による健康・衛生面に対して講座により健康管理面の体制サポートを充実させる。
- ・ 専門学校体育大会種目に対する支援体制を整え課外活動のサポートを行う。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 自動車学科は、学生全員が新教科書による授業となるため教育内容に沿う教材等の追加・更新が必要となる。
- ・ インターンシップの再開により、社会の現況などを肌で感じる絶好の機会を得ることができたことから継続する。

② 今後の改善方策

- ・ 教育目的の達成のために必要な設備・教材等を購入し教育効果を向上させる。
- ・ インターンシップでの学び・反省など振り返る時間の設定など、さらに深掘した内容となるように取り組む必要がある。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
校納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 前年度と比較し、エアポートサービス学科の受験者が減少した。両学科の安定的な高充足率の維持が課題である。他県への進学希望者並びに高校から本校と同じ業種への就職対象者に対しての魅力ある情報発信が課題となる。併せて、県外・女子・社会人からの入学者は募集環境にとって大きなプラス材料となるため継続的な募集活動が求められる。
- ・ 広報物の作成は、募集並びに広報活動に相乗的効果が期待できるよう着意し、より効果を高める。また、SNS等を利用しての認知を向上させる必要がある。
- ・ 留学生の獲得に向けた取り組みをスタートさせたが今後も継続する。

② 今後の改善方策

- ・ オープンキャンパスの参加者数が受験者数の増加に反映することから、魅力ある内容に取り組むことに留意する。
- ・ SNS等の活用については、インスタグラム・LINE等を含め情報発信を継続する。
- ・ 留学生入学者の獲得に向けては、県内の日本語学校並びに就職先企業との連携により、学業・資格取得に強い意志を持つ希望者を入学に結びつける。この際、在留期間の更新（ビザ）の手続き等に遅滞のないよう事務処理を行う。
- ・ 佐賀県下の高等学校進路担当者等への説明会も定着、この説明会を本校の魅力発信の場と捉え、更なる周知と認知を図り志願者の増加に繋げる。
- ・ 佐賀県・佐賀県専修学校各種学校連合会主催の会場・校内ガイダンスに積極的に参加し、受験対象者のみならず早期から学校情報を提供する場とする。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 財務基盤安定のためには、募集定員の高充足率が課題となる。

② 今後の改善方策

- ・ 募集広報において改善を図り、財務基盤の安定化に繋げる。

(9) 法令等の順守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 法令ならびに設置基準は順守されており適正に運営されている。併せて自己評価結果の公開も適切に行われている。なお、問題点の改善については、各部門ごとにテーマを絞り改善に移行できるように取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

- ・ 自己点検評価の最大の狙いは、改善を必要とする項目に対し全職員で認識を統一させ、問題解決に向けた改善意識と実行力が試されていることを肝に銘じ行動しなければならない。